

令和元年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開シンポジウム アクティブ・ラーニング教育実践の10年
～愛知県立大学国際関係学科の挑戦～
2. 事業種別：共催
3. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
4. 主催：愛知県立大学国際関係学科「フィールドワーク写真展」実行委員会
愛知県立大学新大学誕生10周年・長久手移転20周年記念事業実行委員会
5. 開催日時：令和元年11月1日（金） 14:30～16:15
6. 会場：文部科学省情報ひろば（旧文部省庁舎）1階ラウンジ
7. 登壇：丸山 真司（愛知県立大学 副学長）
亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
東 弘子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
星野 佐和（愛知県立大学卒業生・京都大学大学院生）
愛知県立大学国際関係学科の学生
8. 参加者数：約30名（一般・学生・教員）

【講演の様子】



【講演の様子】



【チラシ】



公開シンポジウム
アクティブ・ラーニング教育実践の10年
～愛知県立大学国際関係学科の挑戦～

日時：2019年11月1日（金）14:30～16:15
会場：文部科学省情報ひろば（旧文部省庁舎）1階 ラウンジ
〒100-8959 東京都千代田区森が関3-2-2
東京メトロ有楽線「虎ノ門駅」11番出口直結
公開開催、参加無料、申込不要

◆愛知県立大学外国語学部国際関係学科が創設して10年。世界と日本の多言語・多文化状況の中において、自ら能動的に調査し、発見し、社会還元することのできる人材の育成を目指して、様々なアクティブ・ラーニング教育の取り組みを行ってきました。

◆今回のシンポジウムでは、これまで本学科が取り組んできた多彩な教育実践を、「授業を立案し実践する教員の側」と「受講しつつ成果を生み出してきた学生の側」の両方の立場から報告し、これまでの教育実践の概要を紹介するとともに、その達成と展望について議論します。

◆大学におけるアクティブ・ラーニング、とわつりフィールドワークを中心とした数種のあるがために関心のある教職員、学生・生徒、教育関係者、一般市民の方がたのご来臨をお待ちしています。

- 主催者挨拶：丸山真司（副学長）
- 開会挨拶：亀井伸孝（教授）
- 【トピック1】プロジェクトを通じて学ぶ
東弘子（教授）・高橋由香（学生）
- 【トピック2】フィールドワークを通じて学ぶ
亀井伸孝（教授）
星野佐和（卒業生/京都大学大学院生）
- 【トピック3】海外活動を通じて学ぶ
多田隼人・船尾有紀子（学生）
井上益田・滝尾善（学生）

【関連企画】
企画展示「フィールドワーク等
実践「世界の心」を切り取る
学生の存在感」を開催してい
ます。
2019年9月2日～12月19日、
情報ひろば3階企画展示室にて
公開展示中。
どなたでも無料で観覧できます。
シンポジウムに参加とあわせて、
こちらもご覧ください。

主催：愛知県立大学国際関係学科「フィールドワーク写真展」実行委員会／
愛知県立大学新大学誕生10周年・長久手移転20周年記念事業実行委員会
共催：学生自主企画「学生による学びの未来」実行委員会／
愛知県立大学総務センター／2019年度「プロジェクト推進部」/
協賛：学生自主企画「有田ムスリム」の恵みが入る学校教員の「実践」/
愛知県立大学国際関係学科/
愛知県立大学多文化共生センター
【連絡先】愛知県立大学総務企画部・企画室
Tel: 0561-76-8636
E-mail: kouhou@koukaku-pl.ac.jp



【集合写真】

